

轍わだち

2012, 3. 9 NO30

1年がすぎました。休日の関係で2日早いのですが被災地への想いを確認する「轍」をお届けします。

何もかも失って
言葉まで失ったが
言葉は壊れなかった
流されなかった
ひとりひとりの
心の底で

言葉は発芽する
瓦礫の下の大地から
昔ながらの訛り
走り書きの文字
途切れがらな意味

言い古された言葉が
苦しみゆえに甦る
哀しみゆえに深まる
新たな意味へと
沈黙に裏打たされて

谷川俊太郎 言葉

知っていたはずだが...

自然の驚異を。原発の危険性を。

しかし、分からなかったこんなにも全てを破壊し、何もかもを奪い尽くしてしまうとは…2011年3月11日午後2時46分。あの日から1年が過ぎようとしている。何が進んだのだろうか。何が変わったのだろうか。何を進め、何を変えていかなければならないのか。私たちは問い続けたい。これからも今まで以上に。

“Think globally act locally” ~ 「轍」

校長 今宿純男

「継続は力なり」という言葉があります。一つ一つの効果は微々たるものであっても、たゆまず努力を続けていけば、やがては一つの大きな成果が得られる、それまでは諦めずに努力し続けることが大切だという意味です。「轍」は東日本大震災・大津波・原発事故という三重苦に喘ぐ人々への、希望の灯になっていることでしょう。No29の「バトンはあなたに／たくします」という卒業生の思いを、中高の後輩達は引き継いで下さい。「轍」について、No1の「たよりの名前について」というコラムには「このたよりは、被災された人に限らず、この地震でこころを痛めているすべての人の取り組みを〈人生の足跡〉として記していこうとの願いを込めて付けました」とある。「すべての人」は無理であっても、本校中高生の足跡を記録していくことは意義のあることです。

それにしても、3.11以降の情報の氾濫は異常な感じがします。例えばAmazonで検索すると東日本大震災で3,440冊、福島原発で719冊、原発だけで1905冊の本がヒットします。しかしながら、大型書店で山積みになっていた関連書籍は、2012年に入ると少しずつ平積みから書棚に移動しつつあります。これは何を意味するのでしょうか？

いま必要なことは、他人事・傍観者的な視点ではなく、私たちがまさに人間として、〈自らの生命を守る、自らの生活を守る〉という視点—いわば〈生きる〉視点—を忘れることなく、この現実—「災後社会」—を受け入れ、為すべき事は何か、為さねばならないことは何かを自らに〈絶えることなく〉問い続けることです。ニュースを聞こう、新聞を読もう、機会があれば東北に行ってみよう、信頼性の高い本を読もう、その際にはそれらの情報を鵜呑みにすることなく、事実は何か、真実は何かを、別の様々な情報と付き合いながら正しく判断をしましょう。

“Think globally, act locally”はUNESCOの基本理念です。地球的規模、世界的な視点でものごとを考え、それを身近な地域・生活の場で実行に移すことです。そのためには豊かな想像力・imaginationを培い、科学すること・哲学することが必要です。未来への架け橋=〈持続する社会〉をいかに再生・構築していくかが〈いま〉問われています。その確かな歩みの一端として「轍」があると思います。共に考えましょう。

裏面もご覧下さい

高校1年生全員は、総合学習の最後の授業で被災地から届いた手紙に、返事を書いてそれぞれの方に送りました。全ての便りを紹介したいほど全員の手紙には、優しさと温かさが溢れるものでした。
まだ寒い被災地の方々の心をきっとほのぼのとあたためてくれるだろうと信じています。

お手紙ありがとうございました。気山^{さん}の冬はいかがですか？例年より寒いと聞き、とても心配に思っています。

私はお手紙を拝見し、とても衝撃を受けました。今となっては、本当にあの津波が東北の人々の尊い命をうばったのかと信じられなくなります。ですが、決して忘れてはいけません。私たちはいつも一緒です。私は生まれて初めて津波の実況中継を見、時から、東北の人々を思い続けています。離れていても、私はこれからも支援を続けていきます。東北のために私は諦めません。川松さんは、東北どれた魚を食べてほしいとおっしゃっていましたね。実は私は毎日魚を食べないと気がすまない太魚好きなので、とても嬉しく思いました。一刻も早く東北の復興のために進んで東北産の魚を食べます！
これからまだまだ寒い日が続きますが、どうぞお体に気をつけてお元気で。

初めまして。私は学校で東日本大震災の実行委員に入っています。私は今回の震災をはじめてニュースで見た時、見たことのない津波や被災地の状態を見て、これから、日本はどうなるのかと思いました。私は被災地の方がはやく元の生活に戻れたら...と思い実行委員に入りました。私はそこでトラウマに被災地に行くのをため、そのトラウマを見送るとき、あざけり心があったおなかの痛みを覚えています。まだまだ寒い日が続きます。お体に気をつけて下さい。必要なものがあれば、言して下さいね。被災地の復興を願っています。

温かく新年を向かえられたことを知り、大変うれしく思います。私は、赤坂さんの手紙を読んで、心が打たれました。赤坂さんの私たちに向けてのメッセージに後悔のないように生きて下さい。とおっしゃる強く心に響き、「1日、1日を大切に過ごそう」と思いました。
ありがとうございました。
まだまだ寒さは続くとおもいますが、お体に気をつけて下さい。

お手紙読みました。ありがとうございます。私たち1人1人の少しのお金が、集まってミシンとなり、京子さんの日々の楽しみに使ってもらえていると知り、とてもうれしいです。これからたくさんものを作って下さい!! 私1人では大きなかにはなれませんが、これからもう少しはあります。かになつていきたいと思っています。まだまだ寒い日は続きます。お体に気をつけてお過ごし下さい。私に必要なものがあれば教えてください。日本が1日でも早く元気になることを心から願っています...

平安女学院に温かい手紙を送って下さり、ありがとうございます。読ませて頂きました。大きな字で「ありがとうございます」と書かされたのが、凄く印象的でした。私は、本当に無かで少ししか、お役にたてませんが、また何か必要なものがあればおっしゃってください。お手紙に「見ず知らずの人々」とありましたが、私は平女の先輩からの紹介と聞き、「つながり」を感じました。確かに会っておきませんし、お話ししたこともありませんが、この機会を大切にしたいと思っています。私は5歳の時に父を亡くしているのでも、「1日1日を大切にしてください」という言葉にも、凄く共感していました。素敵なお手紙と言葉を下さり、本当に、ありがとうございます。お元気で過ごして下さい。最後にみんなの幸福が与えられますように。

初めまして。東日本大震災の実行委員で活動している高1の生徒です。お手紙を拝見致しました。ありがとうございます。林さんは「希望を持って星をお子さんと一緒に見たい」とおっしゃっていました。私はいつも暗い空の中一つだけ輝いている星を見たい、色んな星を思っています。それは、常に希望を持っての星であり、ポジティブな星でもあります。たとえ真黒な空でも寛大です。今日の震災で逝かれたお二人は、そんな寛大な空で過ごしているのだと思っています。ほのぼのとした空を見たいは、逝かれたお二人の星を思い、祈りをしたいと思います。お元気に過ごして下さい。

はじめまして、私たちが送った暖房器具を使っていたおかげで、お体が暖かくなりました。ありがとうございます。お元気で過ごして下さい。あの日から、もうすぐ一年が経とうとしていきます。私はテレビで見た映像を思い出すと、心が痛みます。どうか、お体を大切にしてください。

あなたも 実行委員会に入ませんか？

実行委員会では新たに活動してくれる人を募集しています。
来週12日(月)昼休み12:30~選択教室244で会議を開きます。
力を貸してくれる人は、ぜひ会議に参加して下さい！